



No	member	grade
1	大嘉田	5
2	山口	5
3	矢野	5
4	中西★	6
5	高松	6
6	畠迫	5
7	中山	6
8	小松	6
9	野間	4
10	八幡	6
11	大久保	6
12	白木	6
13	南	6
14	上田	6
15	位坂	6
16	奥野	6
17	野老	5
18	岡田	4
19	三田	4

	南山本	柏原市	久宝寺	進修	順位
南山本	—	0-0	3-0	1-5	3
柏原市	0-0	—	5-1	1-0	1
久宝寺	0-3	1-5	—	0-6	4
進修	5-1	0-1	6-0	—	2

野間	八幡	大久保
小松	中山	高松
山口	畠迫	中西
		矢野
		大嘉田

### 【総括】

全日本での結果を踏まえ、やはり個の能力で劣る部分を克服するため、個の身体を生かした打開よりも、グループでの攻守を優先テーマとして、トレーニングを続けてきました。身体能力では、誤魔化しが効かない中、素直に自分たちの弱さを受け入れ、立ち向かう姿勢を貫く姿勢を保つため、徹底してGKからのポゼッション展開、ゴールへ向かうための技術の引き出しを増やすことを行なってきました。そして、数的優位を保つための運動量を養うこともやってきました。その中で、自分達の力で解決する姿勢が公式戦前になって、やっと見えてきました。初戦、身体では劣る1位通過のチームに、自分達のサッカーを貫き通すことができました。全員でコミュニケーションがとれ、チームで攻守を展開させることができました。緊張感あるゲームの中で、冷静に観戦いただいた保護者の皆さんにも感謝申し上げます。対戦チームが、冷静さを失っていく中、南山本の選手は落ち着いてプレーできる環境がありました。

選手・指導者・保護者の力で、初めてMINAYAMA STYLEを表現できた時間であったと思います。

一方、全日本での課題であったチームの人間性、選手の人間性の部分は、多くの課題が残っています。

それ故の不安定さが、まだまだ出てしまう残りの試合であったと報告を聞いています。

技術が向上しても、人がベースです。そして今後は、もっとこの部分が影響していきます。なかなか選手には理解してもらえないですが、指導者は、いつか分かってもらえることを信じて、指導していきます。

公式戦は、終わりました。次のステップのための準備に入ります。

U-12は、これから一番苦手とする。個の打開をテーマに、トレーニングしていきます。今後も、自分を誤魔化すことなく、それぞれの自分の力を高める姿勢を見せてほしいです。